



古曾志大谷 1号墳 (発見時)

古墳を見ても驚くのは、その大きさと、大量の土を盛って、山のように築き上げられた墳丘。日本の歴史の中で、こんなに大きな墓を造っていた時代があったのです。なにかおもしろいところ、この墳丘の形や大きさに、はまるとまなもものがあり、そこには何か理由が隠されています。

よく知られた古墳の名前に、前方後円墳・前方後方墳・円墳・方墳などがあります。これは古墳の墳丘を真上から見た形を表現したのですが、当時の人たちは空から見下ろすことなどできなかったはずなのに、上から見ることを意識していたことが考えられないほど、この古墳も整った形をしています。



歩いてみよう

古墳の形



古曾志大谷 1号墳実大模型
(松江市・古墳の丘古曾志公園)